

千代田中学校だより

自ら一歩前へ

平成30年7月11日

第12号

一人ひとりが輝き

校長 山田正彦

笑顔と感動があふれる学校

「ことばの力」を

「少年の主張」北広島町大会を前に、本校の代表者3名が、全校生徒の前でそれぞれの意見主張を発表しました。千代田

の伝統芸能である神楽，ボランティア活動に参加して，大好きな魚釣りに関わってと，テーマはそれぞれです。自分の体感を通して，感じたこと・気づいたこと・考えたこと・学んだことなどを，自分のことばでしっかりと発表しました。これまで，各学級の予選，さらには学年の予選を進んできた3名ですから，その内容は心に響くものばかりでした。でも，この選ばれた3名だけでなく，学級や学年でみんなはたくさんの意見主張を聞くことができました。そのことはとても価値あることだと思います。それぞれ内容が違うのは当然ですが，その事柄についてどのような視点でせまり，どのような感じ方や考え方をするのかは人それぞれです。いろいろな人のいろいろな発表を聞くことは，自分の視野を広げたり考え方を深めたりすることになります。自分自身の成長に必ずつながります。



また，発表を聞いたことで，自分の思いや考えの伝え方にも参考になることが多かったのではないのでしょうか。どのような表現の仕方で伝えたら，相手に理解されやすいのか。どのような表情や話し方をすれば，より相手に伝わりやすいのかなども，発表を聞くことで学ぶことができたでしょう。さらに，これからみなさんが活躍する社会は，今以上にソーシャルネットワークが活用される時代になり，グローバル化もいっそう進むことでしょう。そんな社会であっても，伝える相手の心を動かしたり納得させたりするためには，仲間と協働して課題を解決するためには，「ことばの力」の必要性が変わることはありません。



授業や学級での活動・部活動などいろいろな場面で，今一度「ことば」について意識してみてもどうでしょうか。さらにもうひとつ，この全校発表会ですが，各学年の予選会でもみなさんの「聞く姿勢」がとても良かったことも「いいな～！」って私は強く感じました。伝えることもですが，受け取る側の意識も，コミュニケーションを交わしていくためには大切なことですよね。

「何よりも尊いのです」

「想定はしていましたが，それ以上だった」ということばが，新聞記事に書かれていました。これまでの豪雨と今回は少し違い，広島県内広範囲にわたって大きな被害を受けることになりました。県内では，とても多くの家屋が浸水したり流されたり，土砂崩れで壊されたり。交通網も大きな被害を受け，復旧のめどが立っていない箇所も多くあります。もちろんそれ以外の被害も…。みなさんの中には，親戚やご縁のある方で被害を受けられた方もあるのではないのでしょうか。そして，何よりも「尊い命」がたくさん奪われたことに対しては，なんと言ったらよいのかことばが見つかりません。先週からはじまろうとしていた県選手権大会も，どのように開催をするのかを，期日のせまる中情報収集を行い検討されているようです。

あらためて毎日の「当たり前前生活」に感謝です。そして，短いことばですが，「命の尊さ」ということについて，今一度一人ひとり自分なりに考えてみましょう。